

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

[製品の名称]	製品の名称	ボンド1 Bond-1 Preimer/Adhesive
[会社情報]	会社名	ペントロンジャパン株式会社
	住所	〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17-5F/6F
	電話番号	03 - 5746 - 0316
	FAX 番号	03 - 5746 - 0320

### 2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2A
	皮膚刺激性	区分 2
	皮膚感作性	区分 1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気  
 皮膚の炎症を引き起こすおそれ  
 アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性  
 強い眼刺激  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 眠気又はめまいのおそれ

注意書き

**【安全対策】**

使用前に取扱説明書入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 熱、高温の表面、火花、裸火、その他発火源から遠ざけること。一禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 防爆型の電気、換気、照明およびすべての資材運搬機器を使用すること。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。

**【応急措置】**

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 皮膚の炎症や発疹が生じた時は医師の診察を受けること。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪くなったときは医師の診察を受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

目の炎症が続く場合は、医師の診察を受けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。

汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

火災の場合：消火するために消火剤を使用すること。

**【保管】**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉して涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	2-1044	-
アセトン	67-64-1	2-542	別表第9の17

・化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

・安衛法： 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2）

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。
皮膚に付着した場合	直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。 適温の緩やかな流水により、15 分以上洗浄する。 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当をを求めること。 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。 脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。
眼に入った場合	コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。 水で数分間、注意深く洗うこと。 この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。 不十分であると不可逆的な眼の傷害を生ずるおそれがある。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は医師を呼ぶこと。 水で口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 応急措置をする者の保護	唾液分泌過多、顔面紅潮、咳、めまい、し眠、頭痛、咽頭痛、意識喪失、吐気、嘔吐。 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する

5. 火災時の措置

消火剤	小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤 大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
-----	--

<p>使ってはならない消火剤 特有の危険有害性</p>	<p>棒状注水 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 加熱により容器が爆発するおそれがある。</p>
<p>特有の消火方法</p>	<p>引火性の高い液体及び蒸気 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。 引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。</p>
<p>消火を行う者の保護</p>	<p>適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 風上から消火する。</p>

## 6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項</p>	<p>作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に入る前に換気する。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。</p>
<p>除去方法</p>	<p>不活性物質(おがくず、ウェス、砂等)で吸収し、密閉できる空容器に回収すること。吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。</p>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

<p>取扱い注意</p>	<p>皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用すること。</p>
<p>保管注意</p>	<p>室温で保管し、直射日光を避けること。 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。</p>

## 8. 暴露防止及び保護措置

<p>設備対策</p>	<p>局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等</p>
<p>保護具</p>	<p>・適切な呼吸器保護具(防毒マスク(有機ガス用)、高濃度の場合、送気マスク空気呼吸器、)を着用すること。 ・手の保護具 保護手袋 ・眼の保護具 保護眼鏡 ・皮膚及び身体の保護具 保護長靴、耐油性(不浸透性・静電気防止対策用)前掛け、防護服(静電気防止対策用)等を着用すること。</p>

## 9. 物理的及び化学的性質

<p>外観</p>	<p>形状 色 臭い</p>	<p>液体 淡横色 アセトン臭</p>
-----------	------------------------	-----------------------------

物理的状态の変化に関する情報

融点/融解範囲	なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	なし
引火点	-17.8°C
自然発火温度	360°C
爆発範囲	なし
密度	なし
蒸気圧	184mmHg(室温)
粘度	なし
pH 値	なし
水への溶解性/混和性	冷水および温水に可溶
相対密度	<1
可燃性(固体、ガス)	引火性の高い液体および蒸気

10. 安定性及び反応性

反応性	化学物質または混合物に関して、反応性に関するデータはない。
化学的安定性	通常の貯蔵および使用条件下で、安定。
危険有害反応性の可能性	通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。 通常の貯蔵および使用条件下で、有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、炎
混触禁止物質	混合物と一緒に反応を起こして有害な状況を起こす化学物質： 酸化剤、還元剤、酸、アルカリ、アミン、アンモニア、塩素化合物
危険有害性のある分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品/成分の名称	結果	種	用量	暴露
アセトン	LC50 吸入 粉塵及びミスト	ラット	76mg/l	4 時間
	LC50 吸入 蒸気	ラット-雄	30000ppm	4 時間
	LD50 経皮	ウサギ	>15800mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	5800 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	4230mg/kg	-

刺激性/腐食性

製品/成分の名称	結果	種	暴露	観察結果
アセトン	眼-非常に軽度な刺激	ウサギ	10micloliters	-
	眼-中程度の刺激	ウサギ	24hours 20milligrams	-
	眼-高度な刺激	ウサギ	20millicrams	-
	皮膚-非常に軽度な刺激	ウサギ	24hours 500milligrams	-
	皮膚-非常に軽度な刺激	ウサギ	395 milligrams	-

刺激性	データなし
変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
奇形発生、催奇形性	データなし

特定標的臓器（単回暴露）

製品/成分の名称	区分	暴露経路	標的臓器, 標的器官
アセトン	区分3	利用不能	気道刺激性、麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復暴露) データなし  
 吸入性危害物質 データなし

12. 環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法 診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。  
 その他関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 1090  
 国連品名 Aceton  
 国連危険有害性クラス 3  
 容器等級 II  
 海洋汚染物質 該当しない

国内規制

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。  
 航空規制情報 航空法の規定に従う。  
 陸上規制情報 消防法の規制に従う。  
 特別安全対策 消防法の規定に従う。  
 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。  
 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。  
  
 危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。  
 移送時にイエローカードの保持が必要。

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

化審法 優先評価化学物質  
 労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）  
 （政令番号 第 17 号、アセトンとして）  
 第 2 種有機溶剤等  
 危険物・引火性の物  
 消防法 第 4 類引火性液体、第一石油類水溶性液体  
 船舶安全法 引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)  
 航空法 引火性液体(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)

## 16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではありません。

## 改訂履歴

00	2016年7月25日	初版
01	2023年12月25日	第2版

JCIA BIGDr (一社) 日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」HP

職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP

NITE 化学物質総合情報提供システム nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHS 分類結果データベース nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHS 混合物分類判定システム 経済産業省